広告

企画協力：読売新聞社広告局

見て・聞いて・学ぼう!

地球のために！未来のために！ クルマのリサイクル

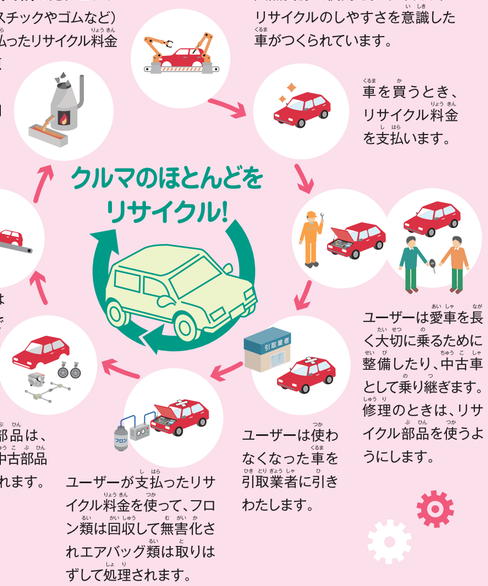
「自動車はどうやってリサイクルされているの？」という疑問を解決するために、さまざまなリサイクルの現場を訪ねる「クルマのリサイクル」シリーズ。3回目となる今回は「自動車販売店」にやってきたよ！

第1回・第2回では、使用済みになった自動車をリサイクルする過程を見ていった。そして、車に使われている部品の中には、専門的な技術や装置を使って、適切に処理しなければならないものもあったよね。そうした処理に使われるお金は「リサイクル料金」と呼ばれ、車のユーザーが支払う必要があるよ。そして、その窓口となっているのが、自動車販売店なんだ。

クルマのリサイクルの流れ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

天然資源の使用を少なくしたり、リサイクルのしやすさを意識した車がつくられています。



教えて博士！ リサイクル料金Q&A

おうちにクルマがあれば、リサイクル券を探してみよう！

Q だいたいどれくらいの金額を支払うの？

A 車の種類によって違うけれど、1~2万円程度のことが多いよ。

Q 車が売られて、持ち主が変わるときはどうなる？

A 車を中古車として売ると、買った新しいユーザーがリサイクル料金相当額を支払うから、前のユーザーにはリサイクル料金相当額が戻ってくることになるよ。

▼これがリサイクル券だ!

この部分に、リサイクル料金の内訳が書いてある!

自動車をリサイクルする際には、専門的な技術や装置を使って、適正に処理しなければならないものが3つあるよね。それは、「フロン類」と「エアバッグ類」、そして「シュレッダーダスト」。これらをきちんと処理するために、リサイクル料金が使われているんだ。

リサイクル料金は、車を購入する際にユーザーが支払うことになっているよ。自動車販売店では、車を購入するお客様に対し、リサイクル料金について分かりやすく説明をしているよ。

丁寧に教えてもらえるから安心

節電・節水・分別… 努力の積み重ね

ポイント2

▲スタッフの皆さんが力を合わせて取り組んでいるよ

最近の車は、人に優しく、環境に配慮する方向へとどんどん進化しているよね。そんな中、宮城スバルは「車の流通に関わる全ての過程で環境への負荷を減らしたい」という想いから、たくさんの工夫をしているよ。そして「電気や水、紙などの使用量を減らす」「車を修理するときに出るゴミをきちんと分別する」などの努力を続けた結果、環境省による「エコアクション21」という認証を取得しているんだ！こんなに大きな成果を出せたのは、みんなで数値を見て話し合いながら、地道に改善を続けたからなんだって。

次回は整備編!

今回のまとめ

自動車販売店は、車を売るだけでなく、点検や整備などもしてくれる頼れる存在！そして、「ユーザーからリサイクル料金を預かる」という、自動車リサイクルにおいてとても大切な役割も果たしているんだね。

クルマの“一生”をサポートしてくれる

ポイント1

自動車販売店は、車を売っているだけのお店じゃない！宮城スバルには、技術と知識を持ったメカニックの方々がいて、愛車に関する悩みや不安を解決してくれるんだ。万が一、交通事故に遭ったり、車体を傷つけてしまったりしたときも、お店の工場で修理することができるんだって。整備を終えた車を見せてもらったら、ピッカピカで驚き！これなら、ずっと安心して車に乗れそうだね。

▲ツナギがかっこいい！

ユーザーにとって頼れる存在!

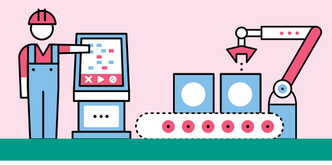
お訪ねした会社

社名：宮城スバル自動車株式会社 本社・日の出店
住所：宮城県仙台市宮城野区
WEB：https://www.miyagi-subaru.co.jp/

自動車の販売だけでなく、点検や整備などのアフターケアも受けられるお店。乗らなくなった車の引き取りもしてくれるよ。地元の人たちから長年愛され続けている企業なんだ。

こちらに伺いました!

vol.3 自動車販売編



第6回 クルマのリサイクル 作品コンクール 標語・ポスター大募集!!

「クルマのリサイクル」について学んだことを標語・ポスターにして応募してみよう!!

応募締め切り 2023年2/28(火)必着

詳しくはこちらから クルマのリサイクル 検索

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC